

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年8月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104373
法人名	社会福祉法人 恵会
事業所名	グループホーム はっぴー
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町9558番地27 (電話) 099-262-5505
自己評価作成日	令和2年6月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年8月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①A棟・B棟自由に行き来できご入居者様・職員と交流を持ち楽しんで生活できるようにしている。
- ②誕生会・季節の行事の際はA棟・B棟合同で行い楽しんで頂いている。
- ③毎月 はっぴー便りを作成し居室やホーム内に貼りご入居者様の様子を伝えている。
- ④毎月ご家族様に連絡票を送付し各居室担当や看護師の立場からご入居者様の状況・状態をお伝えしている。
- ⑤花や野菜をご入居者様と育てて季節を感じて頂いたり収穫の喜びを感じて頂いている。
- ⑥ホーム周辺や駐車場の散歩等を楽しんで頂いている。
- ⑦同敷地内にある他施設等のご利用者様・職員との交流が持てるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、沢山の福祉関連施設があり地域とのつながりを大切に生活している。年間行事計画に沿った夏祭りは、利用者や家族・地域住民が心待ちしている。毎年1500人前後の参加があり、盛大な開催になっている。今年はコロナ禍で、利用者をはじめ地域の方も寂しい思いをしている。次に期待をかけている。
- ・2ヶ所の歯科医療機関と提携し、訪問を通じた口腔衛生管理に力を入れている。歯科医の指導を受け、毎食後一人ひとりの口腔機能に合った口腔ケアを実施している。
- ・管理者は、職員を育成し質の高い介護を目指している。法人内外の研修や勉強会に積極的に参加できる取り組みをしている。毎月の会議は担当制で勉強会をしている。資格取得を進め、時間や研修費の支援を確保している。
- ・事業所の庭は広大で、木陰で休憩し利用者同士の交流の場となっている。
- ・菜園で季節の野菜を育て収穫し、利用者も一緒に料理や漬物作りをして食を楽しんでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	眼のつく場所に掲示してなるべく意識して観るようにしている。理念に沿った声掛けを心掛けている。	理念は、玄関口や面会室などに掲示し、朝礼や会議等で唱和し職員間で共有している。設立当初の理念に追加したものになっている。理念を基に実践できるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くに店や民家が無い為Aコープの移動販売を利用している。お手伝い隊を利用したり夏祭り等の行事を通して地域の方との交流を持っている。	日々の散歩、行事を通じた地域住民との交流、知人や友人のデイサービス等の利用日に交流を楽しみにしている。介護手伝い隊として施設の近くの方々に数名手伝いに来てもらって交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	鹿児島思いやりネットワーク事業を通して地域の方の見学や相談、問い合わせ等受けている。職員も認知症についての知識を身につけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月毎に開催している。ご家族様、民生委員、ホーム側との意見、情報交換を行いたわいのない会話の中に要望が隠れているのでお茶を飲む時間帯を大切にして時間を長くとっている。ご入居者様と同じおやつを召し上がって頂いている。	コロナ禍で定期的な会議は開催できていない。事業所・利用者の状況・取り組みなどを文書で報告している。トイレの石鹸配置や菜園の提案等、質問や意見も活発に出され、サービスに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護受給者の方が増え以前より密に連携をとるようになった。（書類提出や医療連携等）</p>	<p>書類提出等で、出向いてコミュニケーションを取っている。相談や質問は電話で行っている。関連協議会に参加し情報の共有をしている。研修は積極的に参加するようにしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員一人一人が意識してケアを行い、拘束についての勉強会も行っている。ケアや拘束について話し合う機会を増やしている。</p>	<p>マニュアルがあり身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に実施している。気になる言葉遣いなどについてはケアの中で声を掛け合っている。車いす利用者が多く、突然の立ち上がり行動もあり、寄り添いながら、見守りしている。日中の玄関は解放し外出する場合は、同行している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に勉強会を行い意識を持ちケアを行っている。不安な事があれば職員間で確認を行うようにして虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>以前は成年後見人を利用されている方がおられ勉強会等行い知識を身につけていたが、現在はおられない為初心に戻り知識を身につけるよう勉強会を行っていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族様、ご入居居者様が不安にならないよう説明は十分に時間をかけて行い、確認、納得して頂いている。改定時には都度説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会時に意見や要望を気軽に言える雰囲気作りを行い、玄関には意見箱を設置している。普段の会話の中にもご家族様の要望があると考えている。年1回ご家族様とご入居者様にアンケートを行っている。	意見箱を設置し定期的に見ている。利用者とは日々支援の中で思いを聞いている。家族とは面会や家族会・行事参加時にコミュニケーションを取っている。年に1回アンケートを実施したり、毎月の報告書や便りの郵送をして意見を運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議、朝の申し送り時など個人の意見や提案を気軽に言える雰囲気作りをし反映している。	申し送りや会議で自由に意見や提案を話せるように工夫している。大型洗濯機の購入、風呂場の手すり設置、石鹼液を1本化する試み等、アイデアを取り入れ最善のサービスに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の人事考課を実施、上司との面談を行い職員の意向や相談を受けながら仕事への取組み等指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修や施設の勉強会に参加している。新人職員の指導など行い業務を確認して自信を持ってできるようにしている。勉強会の担当を行うようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し研修会や勉強会に参加している。はっぴー園組織グループ内での交流を持ち意見交換を行いサービスの質の向上をさせていく取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様の情報を共有し話を傾聴、思いやりのある声掛け、話しやすい雰囲気を作り安心して生活ができるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学に来られた際はご家族様が安心できるように職員は笑顔で接している。担当のケアマネ、管理者、職員が情報を共有し全職員に周知し統一したケアを行いご家族様、ご入居者様との信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時にはご入居者様やご家族様の要望や今までの生活の情報を収集し、有料散髪やマッサージ、買い物等の支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様の気持ちを大切にしながらお手伝い等をして頂いている。感謝をお伝えしながら日常生活を安心して過ごせるよう支え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状態に変化の無い時は面会時に状態に変化がある時は都度ご家族様に報告、相談行っている。常にご入居者様にとって何が良いのかご家族様と一緒に考えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力のもとご本人様の思いや願いが叶えられるよう支援している。(帰省・墓参り・買い物・電話の取次ぎ等)	家族・知人・友人等の面会、買い物、他の施設利用者との交流、訪問美容室等の支援をしている。家族の支援で外出・外泊・外食・墓参等に出かけている。コロナ禍であり、電話や手紙等で関係継続をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	A棟B棟ご入居者様の誕生会、行事、レクレーション等気軽に行き来できるようにしている。個々の状態に合わせて席替え等も行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	母体の特養やショートステイに移動された時は職員間で情報交換や連携を図っている。ご入居者様の様子等を見に行き安心できる声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で気づきを大切にしている。言葉で伝えられないご入居者様には表情や簡単な質問で察するようにしている。	入浴や夜勤帯の時にコミュニケーションを取り、思いや意向の把握をし、申し送りや記録で情報共有化を図っている。意見の言えない利用者からは表情や変化・緊張している様子など観察し意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを定期的に行い職員間で情報の共有を図っている。日常生活の会話から情報を収集し職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の日々の生活の中での変化の気づきを大切にし、ホームでの生活を継続できるよう、できる事、以前よりできない事を職員が把握し支えていけるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日のミーティング・処遇会議でご入居者様の気づきを介護職・看護職が意見を出し合いご入居者様がより良く生活できるように努めている。主治医の定期往診を通して医療連携も取れている。	モニタリングは月に1回、6ヶ月毎に見直しを実施し、介護計画を作成している。利用者や家族の意見や意向を元に主治医からの情報を得て状態が変化しているときはその都度見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ご入居者様の言われた事をそのままの言葉で具体的に記録する事で職員間の情報共有を図り、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご入居者様やご家族様の状況に応じて受診の送迎、付き添い、介護タクシーの手配を行っている。医療に関してご家族様の意向や思いを主治医に伝えている。また園外活動等思いに近づけるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事等ボランティアの協力を得て行っている。運営推進会議に参加して頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご入居者様、ご家族様の安心する主治医となっている。看護師によりご入居者様の状態や状況を主治医に随時伝え情報共有に努めている。また記録を取って残している。</p>	<p>利用者・家族の希望するかかりつけ医を支援している。4ヶ所の医療機関と提携し月に2回訪問診療している。日々の健康管理は看護師が担当している。他科受診は、家族支援となっている。結果については、家族と連携を図り情報の交換を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に異常や変化があった時はすぐに報告・相談を行い、異常の早期発見に努めている。また主治医の指示の元、訪問看護も利用している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>看護師がご入居者様の主治医と情報交換を定期的に行っている。ケアプラン等必要な情報提供を行い、退院時にはカンファレンスに参加し状態を把握することで、職員共に統一してケアに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にご家族様へ説明を行い意向を確認している。看取りを希望された場合終末期のあり方等ご家族様、主治医、介護職員で話し合い同意を得た上で受け入れられている。意向が変わる事があるので、状況に応じてご家族様の気持ちを確認するようにしている。</p>	<p>入居時に資料に沿って説明し同意を得ている。具体的な説明は、利用者と家族との関係を判断し説明している。利用者や家族の状況に応じて変化していくことがあるのでその時の意向を確認しながら対応している。多くの看取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを目につく場所に置き慌てずに対応するように努めている。園内・外研修等の参加や勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全部所合同で消防署立会のもと、消防訓練、避難訓練、通報訓練等を行っている。災害時のマニュアルも各自確認している。訓練時には職員が再確認を行っている。</p>	<p>消防署の指導の下、年2回マニュアルを基に消防訓練・避難訓練・通報訓練を実施している。避難誘導と避難者の見守りは、他施設職員が担当している。避難順路は、散歩コースの慣れた道でスムーズに避難できる。備蓄は法人一括で管理している。土砂災害や職員の少ない夜間の災害、自家発電機の早急購入等、検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様おひとりお一人の個性に合わせて人格やプライバシーを損ねない声掛けや対応を行っている。倫理や接遇に関する事が記された「職員心得帳」を常に確認できる状況において「言霊」を大切にしている。	スタッフ会議の時などに振り返りを行っている。入浴・排泄・更衣・居室訪問等、利用者のプライバシー保護に配慮した支援をしている。利用者の名前呼び、目線を合わせた対応をしている。「職員心得帳」を携帯し必要時確認し支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中でご入居者様の希望や思いをお聞きし更衣や口腔ケアのタイミングを希望に沿うよう努め自己決定ができるよう声掛けや対応を工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様のその日の状態、睡眠などに合わせて日々のケアを行うように努めている。時間に縛られないようにご入居者様の生活リズムに合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	女性の方は髪飾りやスカーフなどおしゃれを楽しまれている。男性の方は帽子を被ったり洋服の色の組み合わせを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合わせて普通食、刻み、ミキサー食、トロミの食事形態を工夫している。またお部屋で過ごされている方は介助にてお茶やおやつ等を勧めている。食器洗いや食材の皮むき等のお手伝い行って頂いている。	食事は園内の厨房施設から取り入れている。事業所として、食事形態に配慮し、ご飯・味噌汁・おやつを作っている。季節の行事食や誕生日食・菜園で収穫した野菜を収穫し、食事の持つ楽しみを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	看護師から主治医に指示を貰いご入居者様に合った必要量を提供している。また状態に応じてエンシュアや代替を提供する等して召し上がって頂くように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛け、案内などご入居者様に応じて介助を行っている。夕食後は毎日義歯洗浄剤での洗浄を行っている。うがいのできないご入居者様はトロミをつけて白湯などを飲んで頂いている。口腔体操を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食前・食後トイレの声掛けを行い、排泄チェック表を基に必要に応じて声掛けを行っている。ご入居者様の状態に応じて排泄後お茶洗浄や下清式タオルでふき取りを行い、感染予防や清潔に努めている。	排泄チェック表に基づき、利用者の表情・しぐさを観察し、適切なトイレ排泄の支援を心掛けている。失禁時は、洗浄を行い快適な気分でご過ごせる支援をしている。紙おむつから布パンツへの移行や利用者に応じたおむつの提供、数量減の試み等、介護の工夫や声かけにより改善できた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご入居者様の状態を報告し緩下剤の調整などは看護師の指示のもとおひとりお一人に合わせて行っている。また水分等の調整や起床時の牛乳の提供、寒天ゼリーやお芋など工夫したり体操や腹部マッサージを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前に体調のチェックを行い希望に沿った入浴方法を行っている。お湯はおひとりお一人入れ換えて、ご入居者様の希望に応じて介護職員を男性・女性選べるようにしている。	週に2回午前中を基本に入浴支援をしている。希望や必要に応じて、シャワー浴・足浴等も実施している。ゆず湯や入浴剤で変化を与え、入浴を楽しめるようにしている。同性介助も行っている。湯は一人ひとり入れ換えて、清潔に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者様に依って居室で休まれたり食堂にてゆっくり過ごされている。また夜間は個々の臥床時間に合わせて居室に案内している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬時には職員二人で確認、再度ご本人と確認し服薬して頂いている。ご入居者様の嚥下状態に応じてトロミを利用したり形状を医師や薬剤師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の意向に沿い色塗りや本、体操を勧めている。個々に散歩での気分転換を行っている。好きな場所で過ごして頂いたりコーヒーなど好きな飲み物を勧めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	年間行事に沿った外出支援を行っている。また個々の希望に応じてご家族様の協力を得ながら外出・外食を行い楽しむことができている。季節に応じて園外活動を行っている。	早朝に庭を散歩して職員や他の利用者と朝の挨拶を楽しみにしている。行事計画に沿った花見やドライブ・外食・買い物・施設見物がある。今年は、コロナ禍で中止が多く、墓参や外出は家族に協力してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご入居者様でお金の管理ができない方はご家族様の了承を得て少額を所持し外出時にご自分で支払って頂いている。また園主催の夏祭りでは職員と買い物を楽しまれている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人様の希望があれば相手様やご家族様に確認し電話の取次ぎを行っている。また外部からの電話は一旦ご家族様に確認してから取り次ぐようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を玄関・食堂に飾ったり季節の飾りつけをご入居者様と一緒に手作りし食堂や廊下に飾り季節感を楽しんで頂いている。また音に過敏に反応される方がおられる時はミキサー使用を控えるなど工夫している。</p>	<p>ホールや廊下は天井が高く明るい。玄関も開放的で換気もできる。廊下は曲線で楽しく歩行を行い、2段の手すり、自分に合った高さで運動できる。季節ごとに作品を作り、壁に飾り季節が感じられるような工夫をして、居心地よく過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>集いの間にもテレビを置き夜間帯でも見たい番組があれば見られるようにしている。食堂の席は気の合ったご利用者同士で過ごせるように工夫している。廊下、集いの間にソファ等置き好きな場所でゆっくりできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご入居者様に応じてご本人様の馴染みの物を置いて頂いたりご家族様の写真や花を飾ったりされている。装飾物を飾れないご入居者様の物はご家族様の了承を得て集いの間に掲示、保管して楽しんで頂いている。</p>	<p>居室は掃除が行き届き清潔感がある。小ダンス・エアコン・介護ベットを設置している。テーブル・ソファ・写真等を持ち込んでいる。自分で作った作品も多く壁一面に掲示している。自由に濡れ縁に出入りでき利用者同士の交流の場となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>食堂内では車椅子でも自由に動けるように工夫している。個々の力を活かしながら廊下等を自走して頂いている。安全確認、見守りのもと、下肢筋力低下緩和の為廊下の散歩を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない